社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和01年11月12日

計画の名称	三郷市下水道長寿命化計画（早稲田中継ポンプ場）		
計画の期間	平成２７年度　～　平成３０年度　(4年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	三郷市		
計画の目標	計画的に予防保全を行い、老朽化による故障等の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	247	A	247	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H30末)
1	長寿命化対策（施設）実施率を0%（H27）から100%（H30)に増加させる。			
	長寿命化対策（施設）実施率 長寿命化対策完了済み資産数（資産）／長寿命化対策（資産）を実施すべき資産数（資産）	0%	82%	100%
2	地震対策事業により、特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠の耐震設計を0%（H29）から21%（H30）に増加させる。			
	管渠の耐震設計実施率（特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠） 耐震設計延長（433.34m）／耐震設計必要延長（2054.26m）	0%	0%	21%
3	地震対策事業により、特に重要な幹線等のうち、調査・耐震診断の必要なマンホールの調査・耐震診断を0%（H29）から24%（H30）に増加させる。			
	マンホールの調査・耐震診断実施率（特に重要な幹線等のうち、調査・耐震診断の必要なマンホール） 調査・耐震診断箇所（7箇所）／調査・耐震診断必要箇所（29箇所）	0%	0%	24%
4	地震対策事業により、特に重要な幹線等のうち、耐震設計の必要なマンホールの耐震設計を0%（H29）から24%（H30）に増加させる。			
	マンホールの耐震設計実施率（特に重要な幹線等のうち、耐震設計の必要なマンホール） 耐震設計箇所（最大7箇所）／耐震設計必要箇所（最大29箇所）	0%	0%	24%
5	地震対策事業により、特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠の管渠耐震化実施率を0%(H29)から1%(H30)に増加させる。			
	管渠の耐震化実施率（特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠） 耐震化延長（38m）／耐震化必要延長（2054m）	0%	0%	1%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000138760

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	ポンプ場	改築	下水道施設長寿命化事業（早稲田中継ポンプ場）	受変電設備、自家発設備他交換等	三郷市	■	■	■	■		217		策定済
		長寿命化支援制度																	
	A07-002	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠（汚水）	改築	三郷市下水道総合地震対策事業	管渠の耐震設計・耐震化工事、マンホールの調査・耐震診断・耐震設計	三郷市				■		30		策定済
		総合地震対策事業																	
											小計						247		
											合計						247		

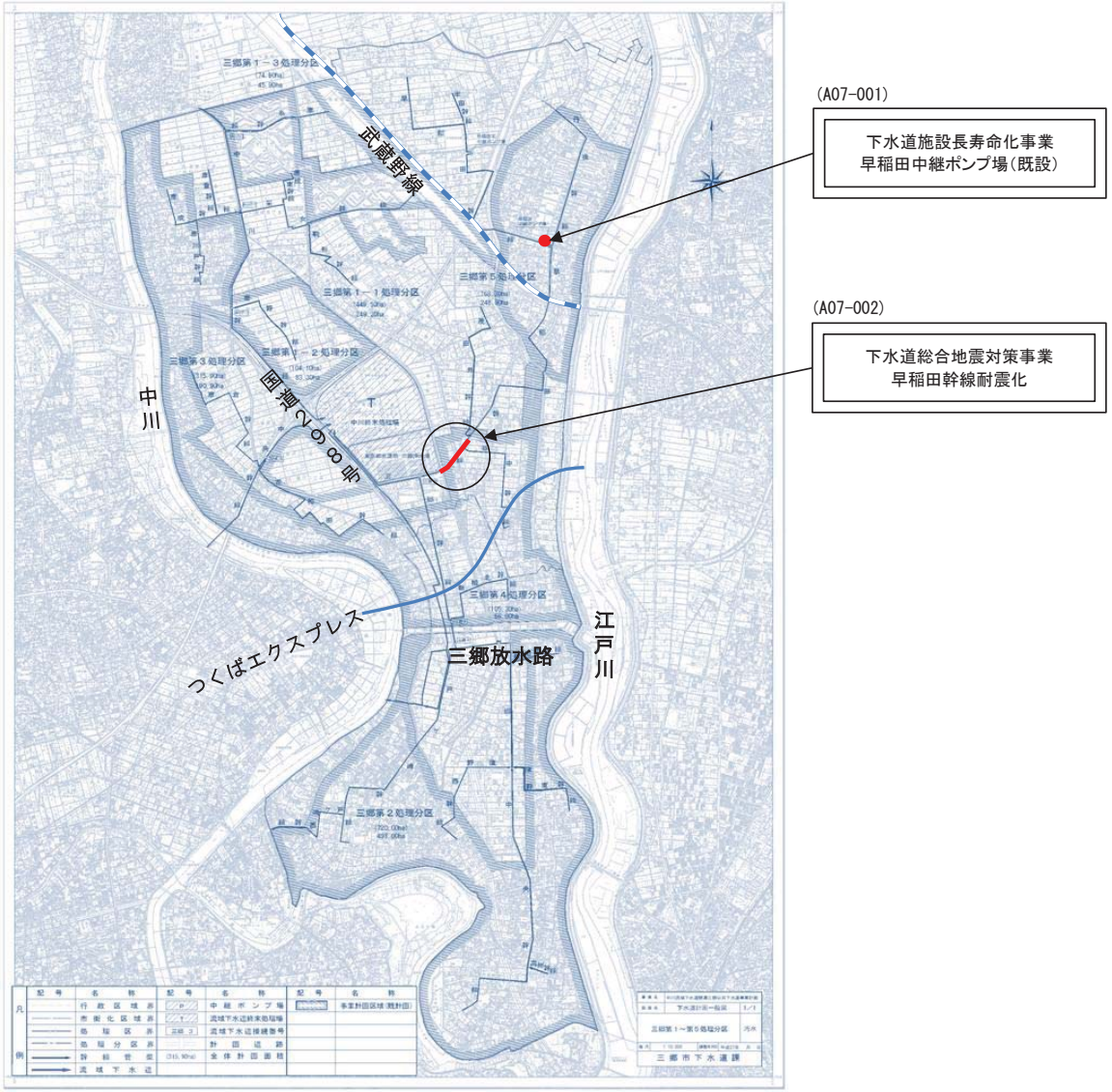
案件番号： 0000138760

事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 三郷市下水道課において事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和元年１１月 公表の方法 三郷市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・長寿命化事業及び地震対策事業を行ったことにより、下水道施設の機能維持が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本整備計画で設定した定量的指標５項目のうち、３項目について、目標を達成した。 地震対策事業については、耐震調査及び診断について当初の予定より時間を要したことにより、一部の耐震設計（マンホール）及び耐震化工事の実施に至らなかったため、目標を達成できない定量的指数があった。 次期計画（平成３１年度～令和４年度）においても引き続き事業を進め、計画的に目標の達成を目指していく。	

案件番号：0000138760

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	長寿命化対策（施設）実施率を増加させる。		
	最　終 目標値	100%	
	最　終 実績値	100%	
2	特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠の耐震設計実施率を増加させる。		
	最　終 目標値	21%	
	最　終 実績値	21%	
3	特に重要な幹線等のうち、調査・耐震診断の必要なマンホールの調査・耐震診断実施率を増加させる。		
	最　終 目標値	24%	
	最　終 実績値	24%	
4	特に重要な幹線等のうち、耐震設計の必要なマンホールの耐震設計実施率を増加させる。		
	最　終 目標値	24%	耐震調査及び診断について当初の予定より時間を要したため
	最　終 実績値	11%	
5	特に重要な幹線等のうち、耐震性能を有していない管渠の管渠耐震化実施率を増加させる。		
	最　終 目標値	1%	耐震調査及び診断について当初の予定より時間を要したため
	最　終 実績値	0%	

（参考図面）社会資本総合整備計画（防災、安全）

計画の名称	三郷市下水道長寿命化計画（早稲田中継ポンプ場）		
計画の期間	平成27年度　～　平成30年度　（4年間）	交付対象	三郷市

位置図